

記 録 票

(教育長)	課長	主幹	課長補佐	係長	係員		
小西	真鍋			中川	奥田	村重	坂本
(関係課:)				報告者職名・氏名			浅井田
				課長補佐 浅井田 展彦			
件名	令和2年度第1回教科用図書選定委員会(中学校)			方法	<input checked="" type="checkbox"/> 来庁 <input type="checkbox"/> 出張 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他		
内容	<input checked="" type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 質問 <input type="checkbox"/> (こちらから) 照会 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> その他 ()						
令和2年5月18日(月) 16時30分~17時				場所 大竹市役所 3階大会議室			
出席者	総務学事課課長補佐兼教育指導係長 中川 同課長補佐 浅井田			相手方	【選定委員】 大橋綾子(小方中学校校長) 久保忠(学識経験者) 畠中和樹(学識経験者) 沖村龍一(玖波中PTA) 三上裕子(大竹中PTA) 真鍋和聡(教育委員会)		
1 総務学事課長挨拶(教育長が別の所用のため) 皆さん、こんにちは。 皆様方には、この度、大竹市教科用図書選定委員会委員をご承諾いただき、心からお礼申し上げます。 本委員会の設置期間であります8月末日までに、本日を含め3回の開催を予定しておりますので、どうかよろしくお願ひします。 事務局からも先ほど説明がありましたように、新学習指導要領の全面実施とあわせて、来年から全中学校で使用する教科書を皆様のお力をお借りして、今年度採択することとなります。 別紙にありますように、本市教育長から本選定委員会へ、中学校用教科書の採択について、また、その調査研究のあり方としてどうあればよいのか、さらに本市の生徒にふさわしい教科書について、諮問させていただきます。 本市の生徒や学校の実情に応じた教科書の選定を、十分なる審議のうえ答申いただきますよう、よろしくお願ひします。 この選定委員会からの答申を基に、8月中旬に予定しております教育委員会で審議し、本市の全中学校で来年度に使用する教科書を決定したいと考えております。 なお、第1回目の本日は、採択事務に関する規約に基づきまして、採択の観点等の事項について協議していただきたいと思います。お手数をおかけいたしますが、どうかよろしくお願ひいたします。							
2 会長・副会長の選任について 互選により次のとおり選任 会長 大橋綾子氏 小方中学校校長 副会長 久保忠氏 学識経験者							

3 事務局から説明

- ① 採択に関する組織・手続について（資料1）
- ② 法令に規定されている基本的事項
- ③ 令和2年度大竹市使用教科用図書の採択に関する基本方針について（資料2）
- ④ 大竹市教科用図書採択地区の採択事務に関する規約について（資料3）
- ⑤ 情報公開について

質疑応答 特になし

4 議事

① 教科書を調査する観点について

「令和3年度使用教科用図書調査研究の観点について（案）」を事務局説明

② 質疑応答

[委員] 学習指導要領が大きく改訂されて、児童生徒の評価の観点が4つから3つに変更されているが、そのことを踏まえて教科書選定調査研究の観点到何等か関連させているのか。

[事務局] 県教委が示した採択基本方針で示された同様の観点を記載している。

[委員] おそらく、2番目の「主体的に学習に取り組む工夫」が加わったのではないかとと思われる。さきほど委員が言われた評価の3項目のひとつが「主体的に学習に取り組む態度」ということが新たな観点到加わったということなので、それが今回の調査研修の観点到もつながったということになるのではないかと。

[委員] (1)の「基礎・基本の定着」が、「基礎的・基本的な知識、技能」に対応し、(2)の「主体的に学習に取り組む工夫」は、「主体的に学ぶ、関心・態度面」がまとめられ、「自ら考える力」の部分は、「思考・判断・表現」に対応している。(1)と(2)で網羅されているのではないかとと思う。

③ 議案の承認

「令和3年度使用教科用図書調査研究の観点について」選定委員会了承。
5月27日開催の調査員全体会で調査員に示す。

5 今後の日程

事務局から教科書採択までの全体的なスケジュールを説明し、第2回選定委員会の開催予定日は7月下旬頃とした。

6 総務学事課長挨拶

7 閉会